



岡崎市立愛宕小学校 校長通信 令和6年1月15日（月）



# 大好きいっぱい チーム愛宕



2024年がスタートしました。各学級では、3学期のよいスタートができ、子供たちの笑顔や真剣に取り組む姿が見られました。今年も「大好きいっぱい チーム愛宕」を掲げ、子供たちの成長のために教職員一同、全力を尽くしてまいります。保護者の皆様には、今年も昨年と変わらぬご協力とご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

始業式では、次に記した内容を式辞として話しました。「2024年、新たな年を迎え、新たな気持ちで前向きに生活をしていきましょう。…（能登半島地震について触れました） 皆さん一人一人がやれることは、目の前のことに精一杯取り組むことです。…3学期はあっという間に過ぎていきます。今の学年のまとめの時であります。また、次の学年に向けた大事な準備の時で、力をつけていく時期です。特に頑張してほしいことは、『思いやりの心』をもつことです。相手の気持ちになって考えること。今の言葉や行動はどうだったのかな、と考えてみましょう。それぞれの級訓を目指していけばきっと思いやりの心は育っていきます。最後に、これを披露します。何だか分かりますか？（大谷選手とつぶやく児童）そうです、大谷翔平選手から寄付された3つのグローブです。（寄付された3種類のグローブを掲げ、説明する） その中にこんなメッセージが届いています。その中の一文を読みます。『私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます』 皆さん、夢や希望をもって3学期を過ごしていきましょう。」



この大谷翔平グローブは、まず高学年から順にまわし子供たち全員の手に触れる機会をもちました。各教室で子供たちは、実際にグローブを手に取り、サインをじっくり見たり、グローブをはめて投げる格好をしたりと思い思いにその感触を味わいました。「軽いよ」「柔らかいね」「どっちの手にはめるの?」「こうやるんだよ」とつぶやく子供たちの目は輝いていました。私が、「グローブをはめたことのある人は」と聞くと、どの学級もちらほら。少ないことに気付きました。また、「野球しようぜ」のメッセージに心を打たれます。子供たちが、夢をもち、夢中になって挑み続ける姿は尊いものです。野球に限らず、自分の好きなことを見つけ、豊かな生き方ができることを願います。このグローブの寄付（全国の小学校のみ）については、年末に報道されてから多くの人々が興味を示しています。このグローブを見たり触れたりすることで、幸せな気持ちになってほしいと思います。大谷選手に感謝します。愛宕小学校では、しばらくは児童の昇降口へ置きます。いつでも見たり触れたりできるようにします。1月19日（金）の授業参観・百人一首大会の日も、昇降口に置きます。保護者の皆様におかれましても、来校された際には手に取ったり写真を撮ったりしていただいで結構です。大谷選手の思いを感じ取ってみたいはいかがでしょうか。

「書き初め大会」真剣に取り組みました。

